

米国経済・株式市場情報

米国企業の第1四半期決算でバリュー株への見直し進む

- 第1四半期の米国企業決算を受けてバリュー株の見直しが継続。米国バリュー株は年初来で16.6%上昇。
- 第1四半期の米国企業決算は概ね市場予想を上回る。第1四半期のポジティブ・サプライズ比率は87.3%。
- 米国企業の2021年～2022年の利益予想の上方修正が進む。足元では、米国株式の割高懸念も緩和傾向に。
- 米国景気の回復期待から、企業業績が注目材料に。当面は、バリュー株優位の展開が続くことが予想される。

米国株式市場ではバリュー株への見直しが継続

2021年第1四半期の米国企業決算を受けて、バリュー株（割安株）への見直しが継続しています。2021年初来の株価騰落率を比較すると、バリュー株は+16.6%と、米国株全体（S&P500指数）の+11.8%や、グロース株の+7.6%を上回るパフォーマンスとなっています（図表1）。

米国企業の第1四半期決算の3つの特徴

2021年第1四半期の米国企業決算の特徴としては、以下の3つの点を挙げることができます。

第1に、第1四半期の米国企業の業績は概ね市場予想を上回り、堅調な結果となりました（図表2）。5月28日時点で、S&P500種指数の採用銘柄のうち495銘柄が第1四半期の決算発表を終え、このうち一株当たり利益が市場予想を上回った銘柄の比率は87.3%となりました。

第2に、好調な米国企業の決算結果を受けて、2021年～2022年の利益予想の上方修正が進んでいます（2頁、図表3）。利益予想の改善に伴い、米国株式の割高懸念も足元ではやや緩和傾向にあるようです（2頁、図表4）。

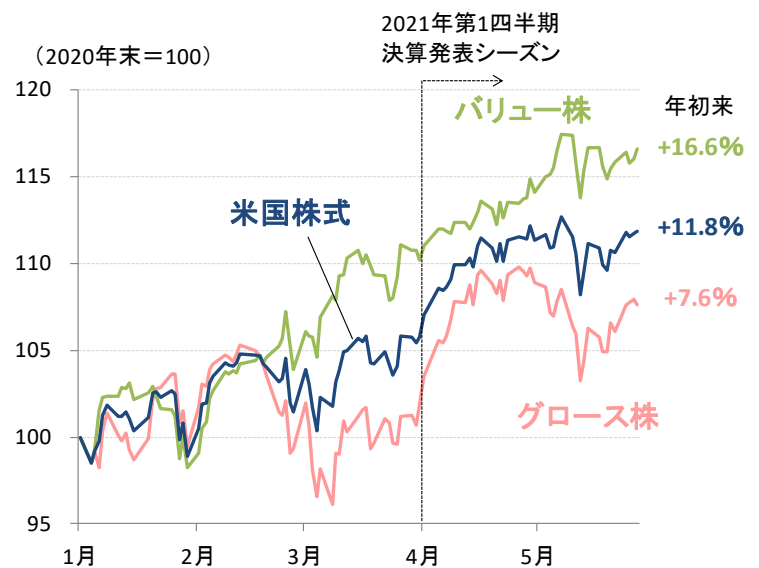
第3に、主に今期の決算発表シーズンで好業績により米国株式をけん引したセクターは、金融や素材、コミュニケーション・サービスでした。情報技術セクターは好調な決算発表が続くも、金利上昇懸念から割高感が意識されたことから、今期の決算発表シーズンの株価騰落率*は市場平均（S&P500種指数）を下回りました（3頁、図表5）。

*データ期間：2021年3月31日～5月27日

グロース株優位からバリュー株優位の相場へ

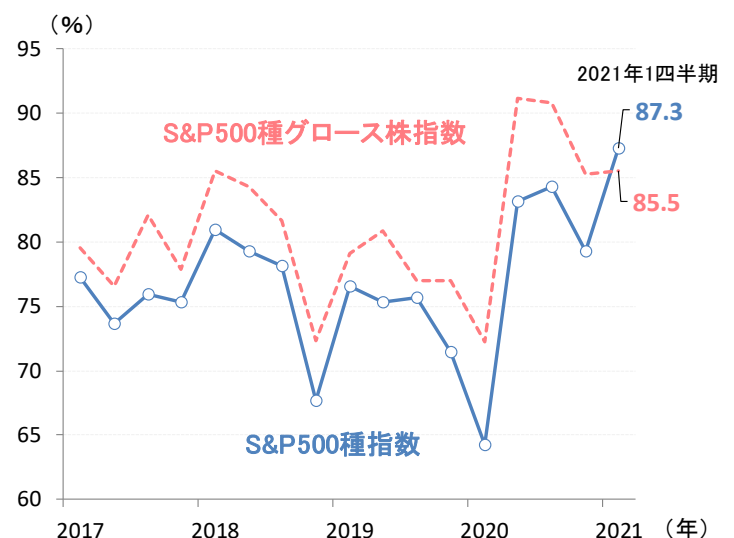
コロナ禍で企業業績（ファンダメンタルズ）の不確実性が一段と高まったことなどから、2020年はグロース株が優位な環境が続きました。米国景気の回復期待から、米国企業の業績が改めて注目されることとなり、当面は、グロース株よりもバリュー株優位の展開が続くことが予想されます（3頁、図表6）。

図表1：2021年初来の米国株式のパフォーマンス推移



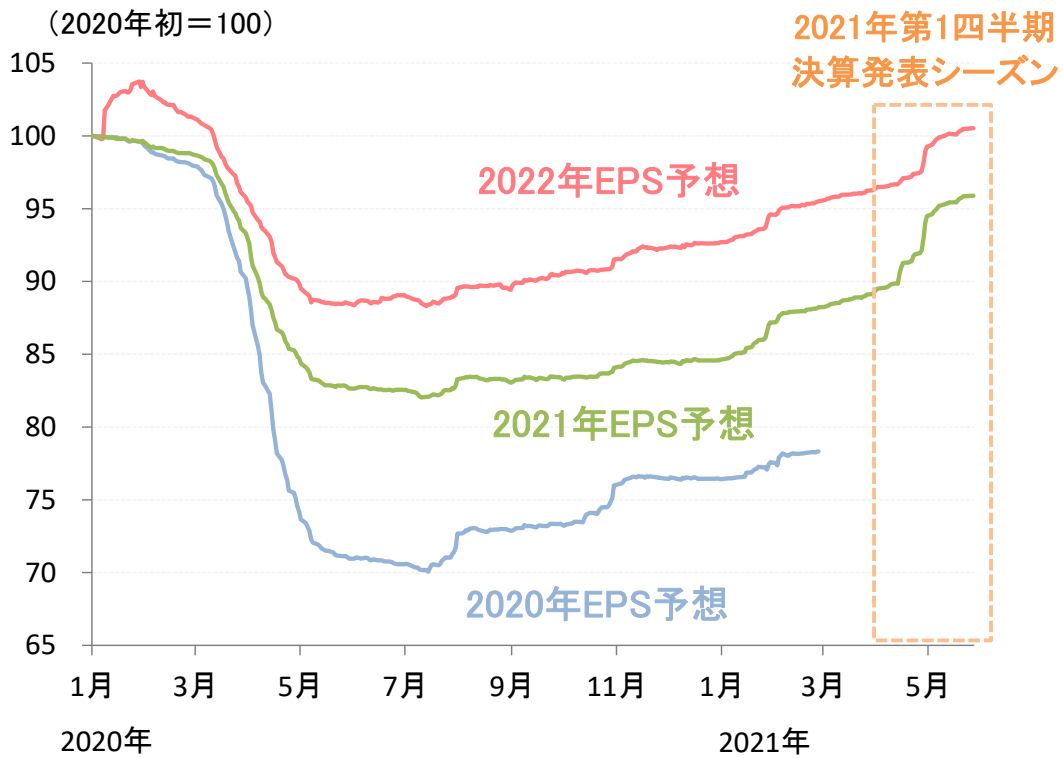
(出所) ブルームバーグ
(期間) 2021年1月2日～5月27日 (日次)
(注) 株式はすべてS&P500種指数ベース。

図表2：米国株式のポジティブ・サプライズ比率の推移



(出所) ファクトセット
(期間) 2017年1四半期～2021年1四半期 (四半期)
(注) ポジティブ・サプライズ比率は各決算期において、一株当たり利益が市場予想を上回った銘柄の比率（2021年1四半期は5月28日時点で集計）。

図表3：米国株式の一株当たり利益（EPS）の市場予想推移



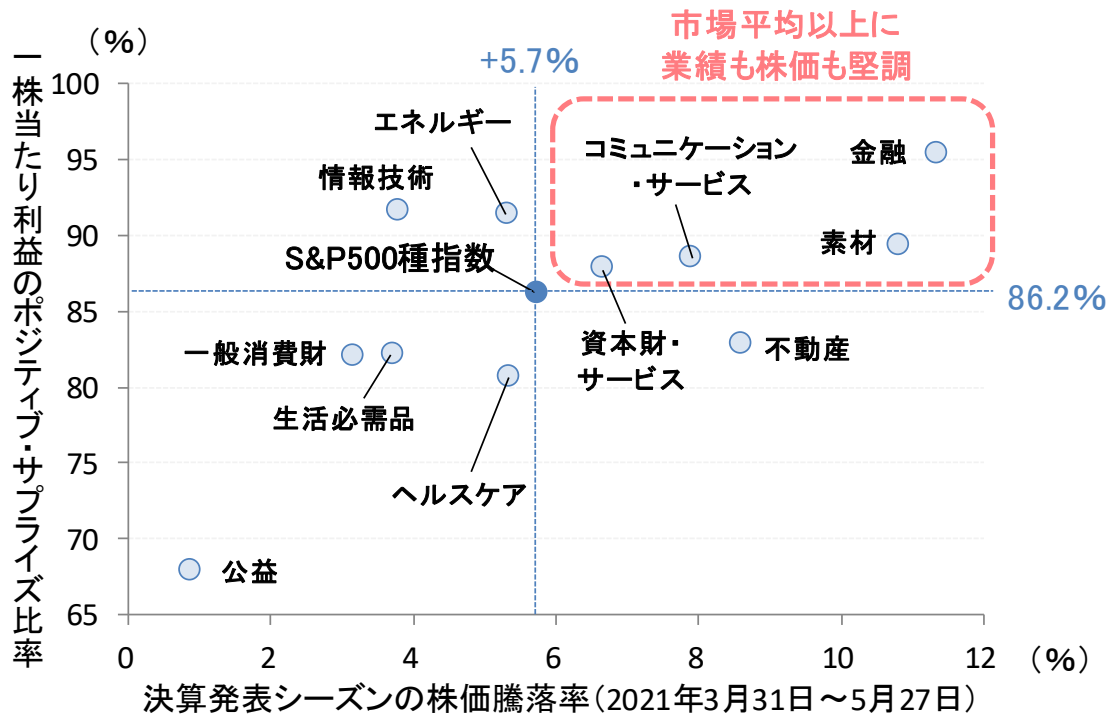
(出所) ファクトセット
(期間) 2020年1月1日～2021年5月27日 (日次)
(注) 米国株式はS&P500種指数。

図表4：米国株の予想PER（株価収益率）の推移



(出所) ファクトセット、ブルームバーグ
(期間) 2020年1月1日～2021年5月27日 (日次)

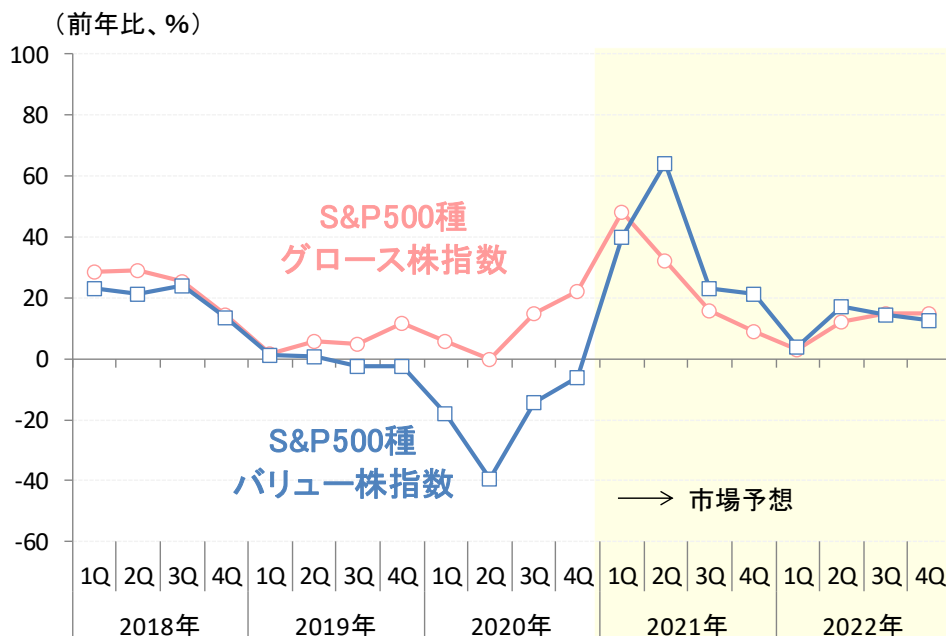
図表5：2021年第1四半期決算における米国企業の
ポジティブ・サプライズ比率と株価騰落率（セクター別）



(出所) ファクトセット

(注) 米国株はS&P500種指数。ポジティブ・サプライズ比率は5月27日時点。

図表6：米国株式（グロース株・バリュー株）の一株当たり利益の見通し



(前年比、%)	2020年 実績	2021年 予想	2022年 予想
S&P500種グロース指数	10.7	25.2	11.6
S&P500種バリュー指数	-20.2	35.7	12.1

(出所) ファクトセット

(期間) 実績：2018年1四半期～2020年4四半期（四半期）、市場予想：2021年1四半期～2022年4四半期（四半期）

(注) 市場予想は2021年5月27日時点。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、フランクリン・テンプルトン・ジャパンの情報を基に、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>